



《郵便配達夫》1928年 大阪市立近代美術館建設準備室

*un peintre de génie qui  
a achevé ses jours à Paris*

# YUZO SAEKI

没後80年記念

## 佐伯祐三展

— パリで夭逝した天才画家の道 —

2008年10月24日[金] - 12月7日[日]

休館日=月曜日(11/3と11/24の月曜日は開館 翌11/4と11/25の火曜日休館)

開館時間=9:30-19:00(火-金) / 9:30-17:00(土・日・祝) / 入室はいずれも閉館30分前まで / 初日は午前10時開展式

入場料=一般1000円(800円) 高大生500円(400円) 小中生300円(240円)

※( )内は前売りおよび団体20名様以上の料金 / 前売りは美術館1階受付にて販売 ※65歳以上の方(長寿手帳等が必要)、身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料 ※会期中の土曜日は小・中・高生入場無料

主催=高松市美術館 産経新聞社 OHK 岡山放送

協賛=野崎印刷紙業株式会社 ニッセイ同和損害保険株式会社 協カ=ヤマトロジスティクス株式会社

Takamatsu City Museum of Art

高松市美術館

香川県高松市紺屋町10-4 Tel.087-823-1711

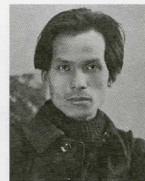


没後80年記念

*un peintre de génie qui  
a achevé ses jours à Paris*

# Yuzo SAEKI

## 佐伯祐三展 - パリで夭逝した天才画家の道 -



天才洋画家、佐伯祐三（1898-1928）がパリで没してから、今年で80年を迎えるのを記念して、その偉業を代表作で振り返る展覧会を開催いたします。堅牢な建物が並ぶパリの街角や近郊の美しい村々を重厚な色彩と激しい筆致で表現し、熱情の中にも郷愁を感じさせる佐伯の作品は、今なお人々の心を魅了してやみません。

佐伯は1898年に大阪府西成郡中津村（現・大阪市北区中津）の光徳寺に生まれました。大阪府立北野中学（現・北野高等学校）を経て東京美術学校（現・東京藝術大学）に進み、同校を卒業した1923年には欧州留学に旅立ちます。翌1924年にパリに着き、里見勝蔵とともにフォーヴィスムの巨匠ヴラマンクを訪ねて自作を見せたところ、「アカデミック!」と批判されました。この訪問を機に佐伯は新しい表現に開眼し、さらにユトリロの影響も受けながら独自の画風を確立して行きます。

1926年に一時帰国をして、里見や前田寛治、小島善太郎、木下孝則と「一九三〇年協会」を結成。しかしパリへの思いは断ちがたく、1927年に再びパリに渡ります。この2度目の滞在において、パリの街並みに広告の文字が躍る「佐伯芸術」という大輪の花を咲かせますが、翌年パリで30年という短くも情熱を燃やし続けた生涯を閉じました。

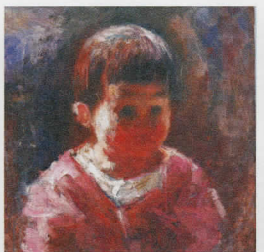
本展では、キャンバスに生命を刻み付けるかのように描いた佐伯の創造の軌跡をたどります。また、佐伯芸術の成立に深く関係した先輩・友人画家や、パリで客死した佐伯の志を継承した後輩画家たちの作品もあわせて紹介し、佐伯芸術のよってきたるところと、その広がりを展望します。

出品内容＝佐伯祐三作品 117点 佐伯ゆかりの画家たち 13作家 19点

（ヴラマンク ユトリロ 里見勝蔵 前田寛治 木下孝則 小島善太郎 荻須高德 横手貞美 大橋了介 佐野繁次郎 中山巍 川口軌外 山口長男）



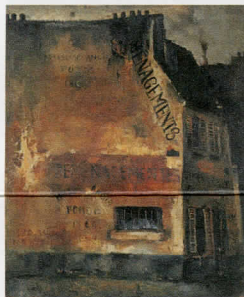
《自画像》1917年  
笠間日動美術館



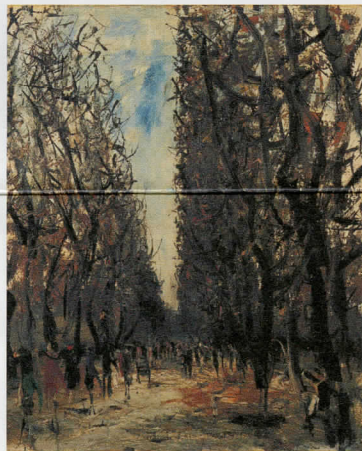
《彌智子像》1923年  
大阪市立近代美術館建設準備室



《立てる自画像》1924年  
大阪市立近代美術館建設準備室



《壁》1925年  
大阪市立近代美術館建設準備室



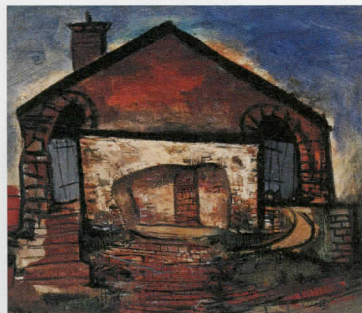
《リュクサンブール公園》1927年 田辺市立美術館



《レストラン（オテル・デュ・マルシェ）》  
1927年 大阪市立近代美術館建設準備室



《ラ・クロッシュ》1927年  
静岡県立美術館



《煉瓦城》1928年 大阪市立近代美術館建設準備室

### 関連プログラム

#### ■ 記念講演会「佐伯祐三とその芸術」

10月25日（土）14時 -  
講師：橋爪節也（大阪大学総合学術博物館教授）  
1階講堂／先着200名／無料

#### ■ エントランス・ミニコンサート「サクソフォーンとピアノ」

10月26日（日）・11月9日（日）  
各13時30分 - エントランスホール／無料／佐伯祐三同時代の音楽作品  
などをお楽しみいただけます。

#### ■ 学芸員によるギャラリートーク

11月1日（土）14時 - / 2階展示室／観覧券が必要

#### ■ 美術館ボランティアcivi（シヴィ）によるギャラリートーク

会期中の毎日曜日・祝日 11時 - 14時 - / 2階展示室／観覧券が必要

#### ■ アートで遊ぼう！（子ども鑑賞プログラム）

12月6日（土）[佐伯祐三展]・1月10日（土）[流政之展]・2月28日（土）[オー  
ルドノリタケと懐かしの洋食器展] / 9時30分 - 11時 / 小学3-6年生 15  
名（先着順）／事前申込制 参加無料／なるべく3回連続で受講してください。

### その他の催し物

#### ■ 鏡の中の鏡 白杵美智代ササカイト・コンサート

11月1日（土）18時開場 18時30分開演／エントランスホール／入場料  
1000円

#### ■ 第4期常設展 10月24日（金）- 12月27日（土）

#### ■ 流政之展 1月4日（日）- 2月8日（日）

#### ■ Talk&Act トーク・アンド・アクト \*詳しくは募集チラシ、美術館HPで。

### Takamatsu City Museum of Art 高松市美術館

〒760-0027  
香川県高松市紺屋町10-4  
Tel.087-823-1711  
Fax.087-851-7250  
<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/647.html>



#### 交通のご案内

JR四国-JR高松駅下車、南へ徒歩15分

こどもん-瓦町駅・片原町駅下車、徒歩10分

バス路線-(ショッピング・レインボー循環バス) 紺屋町バス停下車、徒歩3分  
駐車場-美術館地下に公営駐車場(有料、乗用車144台収容)